

Onshape Education Enterprise 管理者権限などの設定例

学校全体で3DCADの授業・実習でOnshapeを使用するときの考え方、
管理者権限などの設定例です

参考にさせていただければ嬉しいです

2021.7.29
旭川高専
Kashi kashi

1. 学校全体で1つの Onshape Education Enterpriseを使用する

- 学校全体でOnshapeを利用するときは、管理者1名がアカウントを取得した1つのEducation Enterpriseがあれば良い
- アカウントは
 - 管理者のメールアドレス
 - 管理者のパスワード
 - 学校を示すドメイン名（ユニークであること）
（ドメイン名は個人用無料Onshapeでは設定は無い）
- このEducation Enterpriseのアカウントを持つ管理者1名を**全体管理者**と呼ぶことにする
- 以降、Education EnterpriseをEE版と呼びます

2. 管理者以外の学生・技術職員・教員用のOnshapeは、**全体管理者**から送付される招待状に従ってアカウントを作成すると使用できる

- 学生・技術職員・教員が使用するOnshapeは**全体管理者**が学生・教員の各メールアドレスに招待状を送付する
 - 学生・技術職員・教員は招待状に従ってアカウントを作成すれば各個人のOnshapeを使用できるようになる
 - 招待状を送られた学生・技術職員・教員のアカウントは
 - 個人のメールアドレス
 - 個人のパスワード
 - を登録する
- (**全体管理者**が設定した学校を示すドメイン名の入力を要求されることもある)

3. **全体管理者**は教員、技術職員、学生にEE版から必要な権限を与えることができる

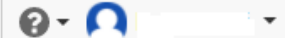
- **全体管理者**は、
全体管理者のEE版から教員、技術職員、学生に必要な権限を与える
- 次ページ以降に与えることのできる権限について説明する

4. グローバル権限まとめ (1)

onshape アクティビティ ドキュメント アナリティクス アクションアイテム

アプリストア

ラーニングセンター



Enterprise 設定 > グローバル権限

ユーザー	アクセス許可	ユーザー
チーム	Enterprise 管理者 すべての Enterprise リソースを完全に制御する機能。他のすべてのグローバル権限が含まれます	
エイリアス	ユーザーとチームを管理する Enterprise 内のユーザーを招待および削除し、チームを作成および削除し、チーム内のユーザーを追加および削除する機能	
グローバル権限	ロールベースのアクセス制御を管理する プロジェクトのロールとアクセス権管理を表示および変更する機能	
認証	完全に削除 Enterprise リソースを完全に削除する機能 (ごみ箱を空にする、ドキュメントやワークスペースを削除するなど)	
プロジェクトロール	アナリティクス管理者 レポートとアナリティクスを完全に制御する機能	
アクセス権管理		
カスタムプロパティ		
カテゴリ		
アイテム		
アプリケーション		
リリースの管理		
ヘルプ		

- Enterprise リソース全体で完全な制御と完全なアクセス許可が与えられる
- 「すべて」タブを編集できる
- 全体管理者 = Enterprise 管理者です
- この EE 版のアカウント、ドメイン名作成した方です
- すべてのドキュメントを閲覧できる

- Enterprise アカウントのユーザーの追加と削除、チームの表示と変更ができる
- 「ユーザー」タブと「チーム」タブを編集できる

- プロジェクトロール (役割) とそのアクセス権管理を表示・変更できる
- 「プロジェクトロール」タブと「アクセス権管理」タブを編集できる
- 教育用ではロール (役割) の設定や管理は不必要なので、この管理は与えるべきではない

- 「アナリティクス (分析)」タブからレポートとアナリティクス (分析) を完全に制御できる

- ごみ箱を空にし、ドキュメント、ワークスペースを完全に削除できる
- ただし Enterprise 内のドキュメント数に制限はありません

5. グローバル権限まとめ (2)

onshape アクティビティ ドキュメント アナリティクス

Enterprise 設定 > グローバル権限

ユーザー

チーム

エイリアス

グローバル権限

認証

プロジェクトロール

アクセス権管理

カスタムプロパティ

カテゴリー

アイテム

アプリケーション

リリースの管理

設定

統合

詳細情報

- プロジェクトを作成する機能を与える
- プロジェクトでユーザーとチームを追加・削除できる
- プロジェクトは特定のモデリングのためにユーザーとチームを一つにまとめたもの

プロジェクトを作成する
プロジェクトを作成する機能

All enterprise users

- 「MyOnshape」でドキュメントとフォルダを作成する権限
- この権限の許可は自動的に全員に与えられる

「MyOnshape」でドキュメントとフォルダを作成する
「MyOnshape」でドキュメントとフォルダを作成する機能

- リリース管理は使用しないので、どのユーザーにもこのアクセス権を与えない

リリースを作成する
リリース候補を作成する機能

リリースを承認する
リリース候補を承認または却下する機能

- アプリストアはユーザーが課金できるアプリが含まれるので学生にはアクセス許可を与えない
- アプリストアは無料で便利なアプリがあるので教員には検索できるようにアクセス許可を与える

アプリストアへのアクセスを許可する
アプリストアにサインインしてアプリケーションをサブスクライブする機能

パブリックのドキュメントへのアクセスを許可する
Enterpriseからのパブリックのドキュメントを表示する機能

- パブリックのドキュメントを学生に使用できないようにするためアクセス許可を与えない

匿名アクセスのために共有する
匿名ユーザーがアクセスできるようにドキュメントを共有する機能

- 外部の匿名ユーザーとドキュメントを共有できないようにするためアクセス許可を与えない

6. 学校で使用する場合の権限の例 (全体管理者、教員、技術職員、学生)

グローバル権限	全体管理者	教員	技術職員	学生 (公開講座など受講者を含む)
Enterprise管理者	○既定値			
ユーザーとチームを管理する	(○)	○	○	
ロールベースのアクセス制御を管理する	(○)	○	○	
完全に削除	(○)			
アナリティクス管理者	(○)	○	○	
プロジェクトを作成する	(○)	○	○	
「MyOnshape」でドキュメントとフォルダを作成する	(○)	○	○	○
リリースを作成する・リリースを承認する	(○)			
アプリストアへのアクセスを許可する	(○)	○	○	
パブリックのドキュメントへのアクセスを許可する	(○)	○	○	
匿名アクセスのために共有する	(○)			

(重要) Enterprise管理者はグローバル権限すべてを許可される

7. グローバル権限の設定方法（1）

onshape アクティビティ ドキュメント アナリティクス アクションアイテム アプリストア ラーニングセンター

Enterprise 設定 > グローバル権限

	アクセス許可	ユーザー
ユーザー		
チーム		
エイリアス		
グローバル権限		
認証		
プロジェクトロール		
アクセス権管理		
カスタムプロパティ		
カテゴリ		
アイテム		
アプリケーション		
リリースの管理		
設定		
統合		
詳細情報		

Enterprise 管理者
すべての Enterprise リソースを完全に制御する機能。他のすべてのグローバル権限が含まれます

ユーザーとチームを管理する
Enterprise 内のユーザーを招待および削除し、チームを作成および削除し、チーム内のユーザーを追加および削除する機能

ロールベースのアクセス制御を管理する
プロジェクトのロールとアクセス権管理を表示および変更する機能

完全に削除
Enterprise リソースを完全に削除する機能（ごみ箱を空にする、ドキュメントやワークスペースを削除するなど）

アナリティクス管理者
レポートとアナリティクスを完全に制御する機能

- 例えば「ユーザーとチームを管理する」権限を設定するときは、この項目上でダブルクリックする

7. グローバル権限の設定方法（2）

アクセス許可 "ユーザーとチームを管理する" を構成 ×

×

×

個人 チーム

名前またはメールで検索 追加

閉じる

- ユーザーのメールアドレスで検索したり、チームの名前を入力し「追加」を押し「閉じる」で権限を与えるユーザー、チームを設定できます